

## 伝染性軟属腫（水いぼ）とは？

ウイルス（ウイルス名：Molluscipox virus）が皮膚に感染することで水いぼとよばれる小さな隆起疹ができ、数ヶ月から数年で自然に治ります。数個しかできない場合から数百個に及ぶこともあります。大きさも通常直径 2mm～5mm 程度です。2mm 程度だと「小さい」ですが、5mm 程度の直径のものが複数あると「大きい」という印象を受けると思います。

水いぼは放置しても、時間はかかるものの必ず自然に治ります。感染力は弱いので、裸でくっついたり浮き輪など直接肌に触れるものを共有する状況以外はほとんど感染しません。そのため、できるだけ無治療で経過観察をするのがよいでしょう。

水いぼとプールについては年々緩和されています。水いぼを覆ってプール可とする考え方になってきています。詳しくは裏面をご参照ください。

水いぼの増え方が急速な場合、非常に数多くなってから治療することが本人の協力を得られず困難な場合があります。増え方が急激と感じたら治療をするかどうかを早めに相談してください。アトピー性皮膚炎、乾燥肌がある場合増え方が早かったり数がかかなり多くなる場合があります。その場合も早めの相談をしてください。

## 治療をする場合の選択肢

### 即効性がある治療

保険診療…ピンセットで摘除する方法。現時点では当院ではおこなっていません。皮膚科にご相談ください。0～1 歳前半の子どもは痛みを伴う処置があっても忘れっぽいので痛みを伴う処置には強いですが、2 歳～6 歳程度の子どもの痛みに敏感な子どもに対して水いぼの摘除をおこなう場合、麻酔テープの前処置をおこなわないと処置に協力してくれず、治療の継続が困難な場合があります。

自費診療…個人輸入品による痛くない水いぼ治療（自費診療）をおこなってきましたが、H30 年春から平日午前みのみの処置としています。当日は 3 時間後に薬液を洗い流す必要があり、保育園、幼稚園をお休みする必要があります。痛みを極めて敏感な子どもさんで治療が（どうしても）必要な状況のときはおこなう価値があると思われます。

### 即効性のない治療

漢方薬内服（ヨクイニン）がおこなわれることがあります。即効性はないので、無治療経過観察に近いとは思われます。

## プールと水いぼについての考え方の変遷

2010年	日本臨床皮膚科医会 日本小児皮膚科学会 日本皮膚科学会 日本小児感染症学会	皮膚の学校感染症に関する統一見解 (対象：子どもと保護者)	この疾患のために学校を休み必要なし プールについては考慮、配慮程度の記載。
2012年	厚生労働省	保育所における感染ガイドライン	記載なし
2013年	日本臨床皮膚科学会 日本小児皮膚科学会	皮膚の学校感染症とプールに関する統一見解 (対象：子ども、保護者、保育園、幼稚園、学校)	プールの水ではうつらないのでプールに入ってもかまわない。ただしタオル、ビート板、浮き輪などを介してうつることがあるためできるだけ共用を避けてください (大半の施設が共用をしている実態に対する記載なし)。プールの後はシャワーできれいに洗いましょう。
2017年	日本臨床皮膚科学会 日本小児皮膚科学会 日本皮膚科学会	同上	同上
<b>2018年 (最新)</b>	<b>厚生労働省</b>	<b>保育所における感染ガイドライン 2018</b>	<b>プールに入ってもかまわない。タオル、ビート板、浮き輪などを介してうつることがある。対策として、衣類、包帯、耐水性絆創膏を貼り他の子どもへの感染を防ぐ</b>